

『水インフラの空間をフィールドとした民間の技術開発支援に向けたサウンディング型市場調査』に関する質問及び回答

番号	資料名	頁	項目		質問	回答
1	実施要項	1	1	目的	サウンディング型市場調査の目的として、「CNに関する新しい技術・システムの開発のための実証実験を支援していくこと」とありますが、実証実験後の展開については、現時点で具体的な計画はありますか？例えば、その技術、システムを応用した製品の研究開発の支援、販売促進や市町村、関連団体への製品紹介、推奨等々、何か検討されていることがあれば教えてください。	実証実験後の展開については、個別ヒアリングにおいて提案をお聞きして検討します。実証実験結果および施設管理者との調整等によりますが、県等が実施する事業での導入にもつなげていきたいと考えています。
2	実施要領	2	2	(3)	対象とする水インフラの空間・資源は「愛知県全域を対象」とすると記載がありますが、提案書記載事項をもとに、貴県にて対象となる施設管理者（国、県、市等）に対して、提案技術を実施する効果があるか、興味があるか等のニーズの把握についての調整についてご協力をいただき、実証を実施するフィールドが選定していく、という理解であっておりますでしょうか。	基本的にはお考えのとおりです。
3	実施要領	2	2	(4)	実証実験の期間(上限)を教えてください	実証実験の期間を含む公募条件については、個別ヒアリングにおいて提案をお聞きして検討します。
4	実施要領	2	2	(4)	実証実験期間における河川占用許可の手続き方法について教えてください	実証実験の内容に応じて必要となる通常の手続きを実施していただきます。具体的な不明点等は、個別ヒアリングでお聞かせください。 (参考) 河川占用等事務手続きのご案内の例（豊田市内の県管理河川の場合） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/toyotakamo-kensetsu/0000063756.html
5	実施要領	3	2	(5)	「実証実験フィールドの具体的な特定は必須ではありません。」との記載がありますが、実証実験を実施する対象となり得る施設について、事業年報のような公表されている資料以外の、実証実験による効果を検討するための技術情報、例えば水道配水管路や浄水場の情報、下水処理場の流入負荷やエネルギー原単位等を提案書受付前にご共有いただくことは可能でしょうか。	基本的には公表されている情報を基にご検討ください。個別ヒアリングにおいて提案をお聞きした後、必要に応じて対話を継続させていただきます。
6	実施要領	3	2	(5)	(参考) 「実証実験終了後は設置した施設、設備等を撤去することを想定しています。」との記載がありますが、実証試験により設置した施設、設備等を継続使用することが有用と判断される場合には、撤去せずに使用継続する可能性はありますでしょうか。	施設管理者側にメリットがある場合は、継続使用を検討する可能性があります。実証実験の公募等を行う際の条件の一つとして、個別ヒアリングにおいて提案をお聞きして検討します。
7	実施要領	3	2	(5)	(参考) 「実証実験終了後は設置した施設、設備等を撤去することを想定しています。」との記載がありますが、実証試験により成果が得られたことをもとに、貴県および対象施設管理者にて実導入につながるような仕組みとすることは可能でしょうか。	実証実験後の展開については、個別ヒアリングにおいて提案をお聞きして検討します。実証実験結果および施設管理者との調整等によりますが、県等が実施する事業での導入にもつなげていきたいと考えています。
8	実施要領	3	2	(5)	(参考) 実証実験の期間は、サウンディングの内容を踏まえて検討とされるとなっておりますが、実証開始後の協議によって期間の延長も可能と考えて宜しいでしょうか？また、提案者側の都合による途中での中止も違約金等なく可能と考えて宜しいでしょうか？	個別ヒアリングにおいて、提案内容と合わせて具体的にご事情をお聞かせください。
9	実施要領	3	2	(5)	(参考) 4(4)費用負担において、「サウンディングの参加に要する費用は、参加者の負担となります。」との記載がありますが、実証実験実施に関わる費用については、「実証実験の資金面での支援については、提案内容に応じた国や県の既存の補助制度の活用をご検討いただくことを想定し」との記載があります。これについて、国や県の既存の補助制度が実証実験の内容に合致しない場合、実証実験の費用は誰が負担するかについてご教示ください。	民間における技術開発の促進のため、水インフラの空間をフィールドとして提供して支援することが本取組の趣旨であり、実証実験の費用は提案者に負担いただくのが基本です。提案内容が既存の補助制度に合致しない場合の資金面での支援ニーズについては、個別ヒアリングにおいてお聞かせください。
10	実施要領	4	3	(1)	採用案件の選定方法について教えてください	提案内容を踏まえ、施設管理者や矢作川・豊川CN推進協議会構成員等の意見を聴きながら、事務局で公募条件等を検討していきます。
11	実施要領	4	3	(2)	サウンディング参加人数の上限を教えてください	個別ヒアリングへの対面での臨席の上限という意味であれば、実施要領P6にお示しした通り、1者（1グループ）あたり5名程度を上限とお考えください。オンラインまたは対面とオンライン併用とする場合、オンラインでの参加人数に制限はありません。
12	実施要項	7	4	(1)	実証実験の公募開始時期、その期間、また実証実験の開始時期、その期間について教えてください。	実証実験の公募は2024年度内に開始したいと考えています。公募期間は現時点ではお示しできませんが、一定の検討期間は確保する予定です。 実証実験の開始時期や期間を含む公募条件については、個別ヒアリングにおいて提案をお聞きして検討します。
13	実施要領	7	4	(1)	サウンディング後に行われる公募において、複数の申込があった場合は、いずれかの一社（もしくはグループ）の提案のみ実証されるのでしょうか？それとも有用と思われる実証である場合には、複数実施される可能性もあるのでしょうか？	同時実施が可能な提案であれば、複数実施いただく可能性があります。実証実験の公募等を行う際の条件の一つとして、個別ヒアリングにおいて提案をお聞きして検討します。
14	実施要領	7	4	(3)	サウンディングにおける優れた提案は実証実験を公募する上でご活用されるとのことですが、提案者が非開示を希望する内容は公表しないという理解で宜しいでしょうか？	提案者が非開示を希望する内容は公表しません。
15	申請の内容				低炭素コンクリートを使用した実施物件での提供を考えている。したがって、撤去等を考えていない。例えば、発注されたプレキャストボックスカルバートを低炭素コンクリートのプレキャストコンクリートとして納入することを考えている。この提案でも問題ないでしょうか。 上記提案の場合、提案書では具体的発注案件が想定できないため、具体的な製品に関して提案書を提出し、発注者で「低炭素コンクリート提案型」として発注することは考えられるのでしょうか。	公募条件については個別ヒアリングにおいて提案をお聞きして検討します。 実証実験の目的（解決すべき課題の内容）、水インフラの空間を使用する必要性等をお聞きすることになると考えます。